

2 B 柴田柚希 平和へのメッセージ

食、音楽、ファッション……今の私たちの身の回りには、韓国を含め他の国の文化が当たり前前に存在している。そして、その文化を好む日本人もいる。私もその一人だ。でも、昔は違うのだと思う。キムチがおいしい韓国と日本はどのような関係だったのだろう。

私が韓国に興味を持ち始めたきっかけは、母が見ていた韓国ドラマだった。日本のドラマとは違う話の展開が何度見ても飽きなかった。それから、中学生になっても友達とK-popの話で盛り上がり、段々私にとって、韓国が身近なものになっていった。

私の通っている中学校には多文化部という部活がある。私はその部活の一員であり、日々、世界の言語や文化に触れている。世界の文化について知ることができる、とても楽しい活動だ。そして、現在は韓国について学んでいる。普段は韓国語を学習している。昨年、中学校の姉妹校である韓国の学校とオンラインで交流をした。韓国語で話せたのは自己紹介だけだったが、母国語以外の言語を使って伝えることができたのは、うれしくてたまらなかった。私は韓国が好きだと思った。

しかし、テレビのニュースでは度々、日本と韓国の政治的問題が取り上げられている。そのニュースだけを見ると、日本と韓国の国同士は仲が悪いように思えた。去年の夏、原爆が投下された日に、クラブで韓国人被爆者のことを勉強した。学校の授業でも、少しだけ、日本と韓国の歴史について学んだことがある。きっと、私が知っている以上に両国の間では今までにいろんな問題があったのだろう。だけど、戦争から80年近く経つ今でも、お互いの国が批判し合うのは悲しいことだ。

私たちが今できることはたくさんある。例えば、お互いの文化を知り、対話することだ。難しく考える必要はない。韓国の音楽が好き。食べ物が好き。そこからでも良好な関係は築くことができる。

そして、知ること。実は私たちは8月4日に広島市にフィールドワークに行き、韓国人被爆者の方から話を聞く予定だった。しかし、コロナの影響で中止になってしまった。後日、先生からその方が亡くなられたと知らされた。私は呆然とした。その方の思いを聞くことが出来なくなってしまったからだ。日本や戦争に対してどのような思いを持っていたのだろう。このことを機に改めて高齢化していく戦争を体験した方の声を聞くことの大切さを感じた。過去は変えることができないし、戦争をなかったことにはできないけれど、その歴史を私たちは学びつつ、交流を続けていくことで、未来につながる。言語や文化を通して心を通わせ、二度と悲しい歴史を繰り返さないように、私たち若者ができることをしていきたい。